

Hop Step Jump

11

中学校授業づくり⑤ 大教大附属池田中学校での 授業づくり研修を振り返って

10 月 6 日は中学校の初任者、そして、2・3 年目の先生方を対象に、大教大附属池田中学校で実際の授業の見学と研究協議を行いました。もうすこし時間があれば、授業づくりの悩みや、研修や先輩から得た授業のアイデア、果ては愚痴などが言い合えれば、さらに学びが深まるのではないかと思います。仲間の気づきから学ぶ。今回はできるだけたくさんの感想を掲載してみます。

授業見学や研究授業を見せてもらおうと自分のやる気につながります。色々な工夫や技術を学ばせてもらうのですが、それを実行するだけのエネルギーが必要なので、明日からまた頑張れそうです。1 時間のテーマの設定と導入を考え直して、教材研究をやっていこうと思います。(社会)

単元目標が非常に明確、且つ生徒の現状に合ったものになっているため、教材で教えるということが徹底できていると感じました。文学作品になると、どうしてもシンプルな読みの学習が多くなってしまいがちなので、新しい考え方を知ることができました。今後の自分の授業に少しでも活かしていきたいと思います。ありがとうございました。(国語)

とことんまで「生徒のため」の授業なのだなと感じました。自分がやっている授業は、自分の進行のことで頭がいっぱいで、ここまでの気づきができているかな…と反省しきりでした。途中、生徒が「 $n \geq 0$ 」の“=”を消したとき、「なんで n は 0 じゃあかんの？」とすぐにツッコミを入れていたり、「なんで $1/2$ なん？」と言っていたり…。谷先生の授業は“知的好奇心”をくすぐられるものばかりで、一個人としても、とてもワクワクしながら拝見しました。本当にありがとうございました。(数学)

生徒の力を信じて、生徒に考えさせ、発言させていることに衝撃を受けました。生徒を普段からよく観察されて生徒に合った課題を用意されていたので、生徒はいきいきと活動していました。どのような授業をしたら、生徒は楽しいのかももっともっと準備に時間と手間をかけたいと思いました。(社会)

決められた授業の流れをもとに視覚的にも訴えられる授業展開は、どのような生徒に対しても学習しやすい環境作りがされていると感じました。前回の 8 月同様ゴールが明確であり、また生徒とそれについて共有されているので、生徒自身もどのように学習すれば良いのか、頑張れば良いのかを理解しながら授業に取り組めており、本当に無駄を感じさせない 50 分間でした。1 つずつ自分にも真似できる所を探して授業に活かしていこうと思います。(英語)

同じ中学生だと思えないぐらい、附中の生徒の歌に圧倒されました。発声練習でのブレスコントロールは合唱コンクールも近いので早速ためてみたいと思います。歌唱でもワークシートの書き方でも、3 年間の積み重ねが大切だと感じ、1 年生は特にもっともっと出来ることを引き出していきたいと思いました。(音楽)

高橋先生の国語科授業を見学させて頂きました。生徒の意見が中心で、展開されていました。文章を見る視点や言葉のつかわれ方、登場人物の設定、感情表現に着目する比較文が多くみられました。授業で教え込む形式ではなく、学問として、深められる空間だと感じました。他の作品でも応用して「読む力」を養うことの楽しさや難しさを感じました。高橋先生の印象的な言葉は“気づきの気づき”です。他の人の気づき(意見)から気づきを書くことで、学びが深まりました。(国語)

“気づきの気づき”。これこそ学びの第一歩かと思います。だからこそ学びを深めるためには他者が必要であり、お互いの気づきを聴き合う関係こそ「学び」には必要なのです。

大教大附属池田小・中・高校の共同研究発表会が、今年は 11 月 21 日(土)に開催されます。既に、申し込みは始まっています。豊能地区教職員人事協議会の WEB、研修のページからたどれますので、検索してください。